

## プロダクトデータシート

Sikaflex<sup>®</sup>-271 PowerCure

## 硬化促進型ガラス窓用接着剤

代表的な製品データ (その他の情報は安全データシートを参照)

主成分	ポリウレタン
色 (CQP001-1)	ブラック
硬化機構	湿気硬化 <sup>A</sup>
密度 (未硬化)	1.2 kg/l
形状保持性 (CQP061-1)	とても良い
施工温度範囲	5 ~ 40 °C
オープンタイム (CQP526-1)	10 分 <sup>B</sup>
初期引張りせん断強度 (CQP046-1 / ISO 4587)	表1参照
硬度 (ショアA) (CQP023-1 / ISO 48-4)	65
引張り強度 (CQP036-1 / ISO 527)	7 MPa
破断時の伸び (CQP036-1 / ISO 527)	300 %
引裂き強度 (CQP045-1 / ISO 34)	10 N/mm
引張りせん断強度 (CQP046-1 / ISO 4587)	5 MPa
適用温度範囲 (CQP509-1 / CQP513-1)	- 40 °C ~ 90 °C
保存期間	9 カ月

CQP = Corporate Quality Procedure

<sup>A</sup> PowerCureから供給<sup>B</sup> 23 °C / 50 % r.h.

## 製品概要

Sikaflex<sup>®</sup>-271 PowerCureは、ガラス窓接着用途に適した硬化促進型 1 成分形ポリウレタン接着剤です。ガラス、セラミックコート、塗装面、電着塗装面など、商用車の製造、およびガラス交換補修に関連する被着材の接着に適しています。Sikaflex<sup>®</sup>-271 PowerCureの硬化は、シーカのPowerCureテクノロジーによって促進され、気候条件による影響をほとんど受けません。

## 特長

- 硬化および接着力発現を促進する
- 非常に優れた作業性
- 商用車のガラス交換用に最適
- Sika<sup>®</sup> Booster の使用で天候による硬化速度の影響を受けない
- 高い機械的強度
- 無溶剤

## 適用範囲

Sikaflex<sup>®</sup>-271 PowerCureは、特に手動塗布によるガラス窓接着と商用車のガラス交換向けに開発されています。PowerCureテクノロジーにより、Sikaflex<sup>®</sup>-271 PowerCureは強度と接着性が早く発現します。この製品は施工経験のある専門業者での使用を前提としています。実際の被着材と作業環境で試験を実施し、接着性と材料の適合性を必ず確認してください。

## 硬化機構

Sikaflex®-271 PowerCureは、硬化促進剤による水分との反応により気候条件による影響を大きく受けずに硬化します。代表的な強度発現データは表1をご参照ください。

時間 [h]	23℃時の引張りせん断強度 [MPa]
1	0.7
2	3.5

表1: Sikaflex®-271 PowerCureの強度発現

## 耐薬品性

Sikaflex®-271 PowerCureは、一般的に、淡水、海水、希酸、および希アルカリ溶液に対しては耐性があります；燃料、鉱油、植物油および動物性油脂に対しては一時的な耐性があります；有機酸、グリコール酸アルコール、濃無機酸、および濃アルカリ溶液、または溶剤には耐性はありません。

## 施工方法

### 下地処理

表面は清潔で乾燥させ、グリス、オイル、そしてホコリを完全に除去してください。

表面処理は、被着材の種類や仕様によって決まり、長期的な接着には極めて重要です。表面処理の全てのステップは、組み立て工程における具体的な条件を考慮し、現物の被着材による事前の試験にて確認されなければなりません。

### 施工

PowerCureユーザーマニュアルに従って、PowerCure ディスペンサーをセットアップします。2分以上作業が中断される場合はミキサーを交換してください。

Sikaflex®-271 PowerCureは、5℃～40℃の間で施工することができますが、施工性と同様、反応速度が変わることを考慮してください。被着材とシーリング材の最適温度は15℃～25℃の間です。

オープンタイムは高温多湿の環境下では大変短くなります。部品は必ずオープンタイム内に貼り合わせてください。経験則として、+10℃の温度上昇でオープンタイムは半分になります。均一な厚みを確保するために、三角形形状でのビード塗布を推奨します(図1参照)。

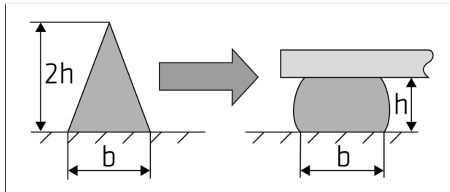


図1: 三角ビードを上図のように圧着してください

## 除去

硬化前のSikaflex®-271 PowerCureは、Sika®Remover-208または他の適切な溶剤を用いて工具や機器から取り除いてください。硬化後は機械的に取り除くしかありません。手など皮膚に付着した場合は、直ちにSika®Cleaner-350Hまたは適切な工業用ハンドクリーナーおよび水で洗い流してください。溶剤は使用しないでください。

## その他の情報

ここに記載されている内容は、一般的な情報です。具体的な施工に関するアドバイスは、シーカ・ジャパン(株)テクニカルサービスへお問い合わせください。以下の資料はご要望に応じて提供いたします。

- 安全データシート(SDS)
- General Guidelines Bonding and Sealing with 1-component Sikaflex®
- PowerCure User Manual
- PowerCure Quick Reference Guide

## 荷姿

PowerCure パック	600 ml
---------------	--------

## データについて

このプロダクトデータシートに記載されたすべての技術データは、研究所でのテストを基にしています。実際の測定データは、当社ではコントロールできない環境の相違のために異なる可能性があります。

## 健康と安全に関する情報

化学製品の安全な運搬・作業・保管・廃棄を行うために、物質、環境、毒性その他の安全性に関する情報が記載された安全データシートの最新版を、必ずご確認ください。

## 免責事項

シーカ製品の施工および使用に関する推奨その他の情報は、当社の現時点での知識および経験に従ったものであり、通常の条件下で当社の推奨に従い適切に保管・処理・施工されることを前提としております。実際には、材料、接着面、現場の条件がそれぞれ異なるため、ここに記載されている情報、書面による推奨その他のアドバイスは、商品性や特定目的への適合性について保証するものではなく、また法的関係に基づく責任を生じさせるものでもありません。ユーザーは、シーカ製品がユーザーの意図する施工方法および目的に適しているかどうかを、必ず事前に確認してください。当社は、第三者の財産権を尊重し、製品の特性を変更する権利を有します。すべての注文は、当社の最新の販売・納品条件に従って受注します。ユーザーは常に、使用する製品のプロダクトデータシートの最新版をご参照ください。プロダクトデータシートの最新版は、ご請求いただければ当社がご提供いたします。